

4 メンテナンス

■電球の交換



警告



ライト部および電球は高温になります。電源プラグを抜き、必ずライト部および電球が冷めていることを確認してから作業してください。火傷の原因になります。



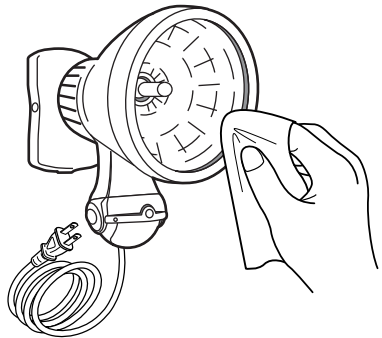
濡れた手で、本体や電源プラグに触らないでください。感電の原因になります。

- 1 保護ガラスを左に(反時計回り)回して外し、ソケットから電球を外します。
- 2 新しい電球をソケットにしっかりとねじ込んでください。電球は直接手で触らず、ハンカチなど乾いた布などで持ってください。電球切れの原因となります。
- 3 保護ガラスを右に(時計回り)回して、ライト部にしっかりと装着してください。



注意

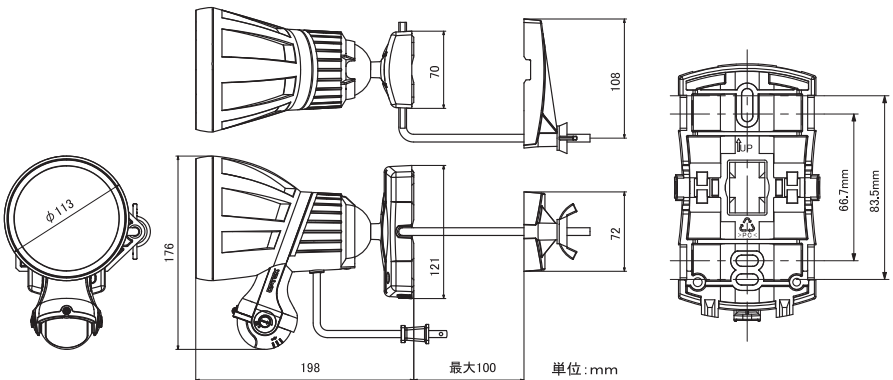
保護ガラスの締め付けが不十分ですと、浸水による破損の原因となりますのでしっかりと装着してください。



■汚れたときは

水洗いはしないでください。本体の汚れは柔らかい布で乾拭きするか、中性洗剤を薄めた水で湿らせた布をよく絞って拭き取ってください。ベンジンやアルコール、シンナーなどの化学薬品を使用されますと変色、変形、ひび割れを生じる場合がありますので使用しないでください。

■外形寸法図



■仕 様

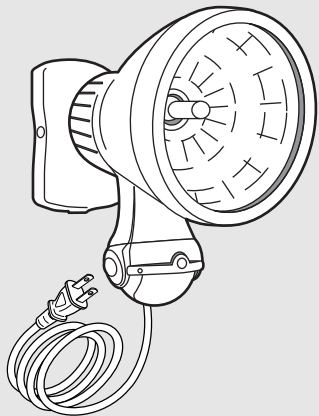
品 名	センサライト
品 番	LP-500
検知方式	熱線(パッシブインフラレッド)方式
定格電圧	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	消灯時:1W以下 点灯時:約85W
点灯照度	約5lx~∞可変
使用温度範囲	−20~+50℃
点灯時間	約5秒~約5分
点灯モード	センサ点灯モード/連続点灯モード 切替
耐水性能	IPX5(防噴流形)
電源コード長	約3m
バース取付幅	角柱取付時:25~100mm、 丸柱取付時:φ25~80mm
使用電球	JD110V85Wハロゲン球 ※指定以外の電球は使用しないでください
質量(付属品除く)	約940g
付属品	ハロゲン電球1個、取付バース1組、 取付ベース固定ネジ用キャップ1個、 壁取付ネジ2本、コンクリート用スリーブ2本 検知エリアマスキングカバー2個、 ボールジョイント固定ネジ1本、 防犯ステッカー1枚

※仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

DELCATEC

●このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

センサライト



●この度はLP-500をお買い上げいただきましてありがとうございます。

●お取り付けになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

●この取扱説明書をお読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

●この製品は盗難・災害・事故などを防止するものではありません。なお万一発生した盗難・災害・事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

●この製品は日本国内用です。海外ではご使用にならないでください。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

特 長

●配線工事不要で簡単取り付け
電源はプラグをコンセントに差し込むだけ。壁面設置はもちろん、柱やポールを挟み込んで取り付けるバース付きなので、取付けしやすい構造です。

●消し忘れの心配がなく省エネ
人がいなくなってから一定時間が過ぎると自動的に消灯しますので、消し忘れがなく経済的です。

●85Wで100W相当の明るさを実現！
省エネタイプの85W電球を採用。ただし明るさは100W相当なので少ない消費電力で十分な明るさを確保できます。

●自由自在の角度調整
ライトとセンサの角度が個別に調節できます。
また、センサ部は上下、左右に独立してエリア設定が可能な二軸構造を採用。より正確なエリア設定が可能です。

●作業灯に便利な連続点灯機能付き
ライトが点灯し続ける「連続点灯機能」付き。カーポートや物置、庭での作業などに便利です。

●明るさを感じる『明るさセンサ』内蔵
周囲の明るさを自動的に判別する『明るさセンサ』を内蔵。昼間は点灯せず、夜間のみの点灯が可能です。

●安心のSマーク取得
国内外から信頼を得た第三者試験認証機関により、電気用品安全法適合製品として認証を受けたことを示すマークです。

●屋外でも安心の防雨タイプ
直接雨がかかっても影響を受けない防雨タイプ(JIS防噴流型IPX5)なので、屋外にも安心して設置いただけます。

●大型ミラーで電球交換が簡単
大型ミラーの採用により、灯体が邪魔にならず容易に電球交換を行うことができます。

取扱説明書

この製品を正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。

LP-500

もくじ

特長	1
はじめに	2
安全にお使いいただくために	2
1 お使いになる前に	3
各部の名称と付属品	3
設置場所を決めるときのご注意	3
2 本体を設置する	4
本体の取付方法	4
電球の取付方法	6
ライト部の角度調整方法	7
検知エリアの設定	7
動作テスト	9
各ボリュームの設定	9
連続点灯モードの設定	10
3 「おかしいな…」と思ったら	10
動作表示灯の見かた	10
思ったように動作しないときは	11
4 メンテナンス	12
仕 様	12

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)	・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(代)
・都山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・東京支店 TEL.(03)3341-4569(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-8895(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)	・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	・松本出張所 TEL.(0263)27-7801(代)	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・厚木出張所 TEL.(046)225-6102(代)	・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)			・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く) ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

はじめに

■絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、その表示と意味は次のようになっています。十分ご理解の上、本書をお読みください。いろいろな絵表示をしています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷する可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

- 

○記号は禁止を示しています。
図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- 

●記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。
図の中には具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

安全にお使いいただくために



警告

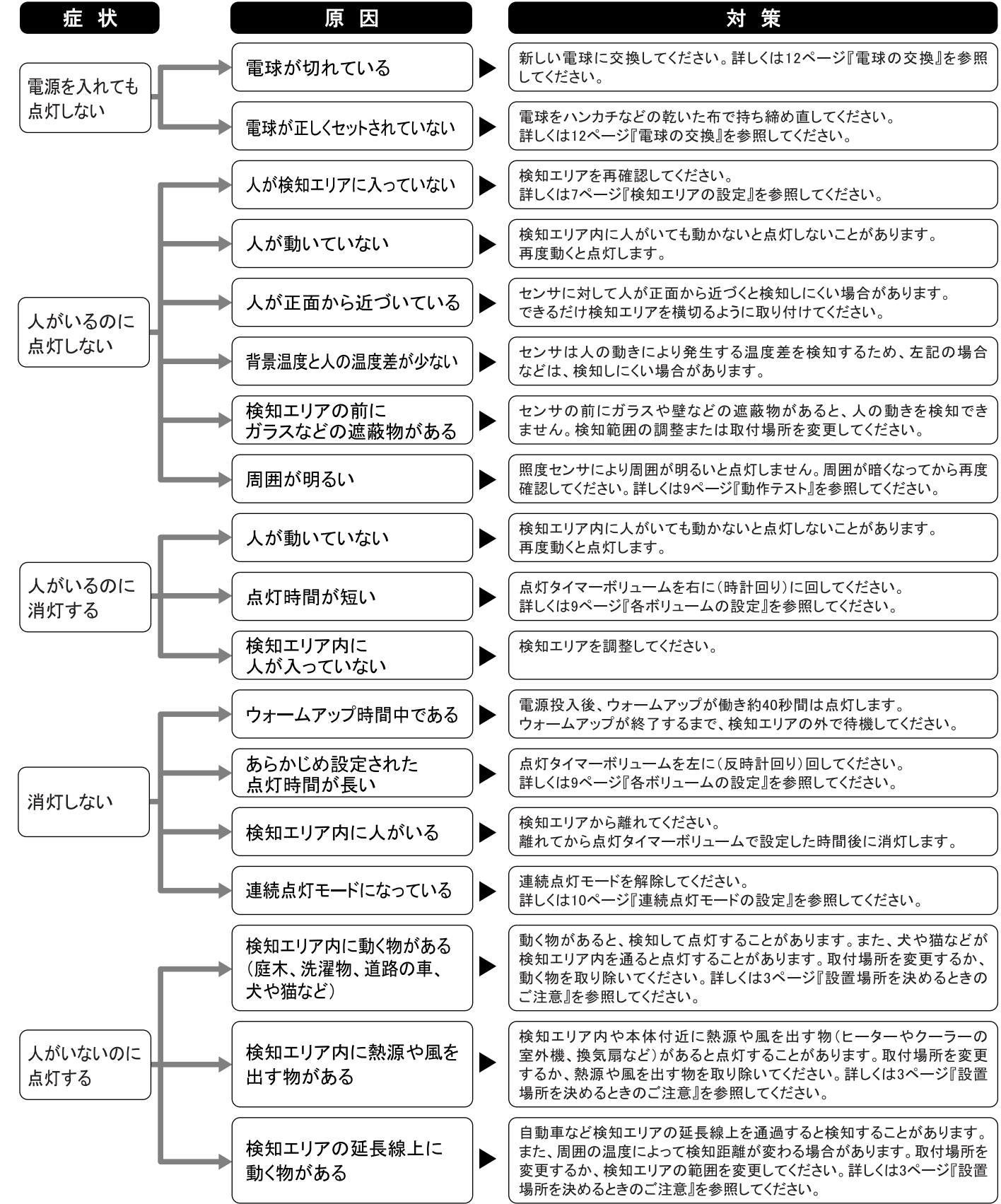
	燃えやすい物の近くで使用禁止	燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。昼でも本体に布や紙などがかぶさると点灯しますので、火災の原因になります。人がいなくてもセンサで点灯することがありますので、特にご注意ください。
	取り付け方法を守る	本書にしたがって正しい方向に取り付けてください。取り付けには方向性があります。安全のため必ずネジで固定してください。バイスによる固定のみの場合、荷重をかけると器具落下によるけがの原因になります。
	取り付け場所に注意	温度の高温なる物の上に取り付けしないでください。ガス機器やその排気口の上に取り付けしないでください。火災の原因になります。
	電気工事は専門家に依頼	電気工事が必要な場合は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方による電気工事は法律で禁止されています。取り付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。火災、感電、器具落下によるけがのおそれがあります。
	異常なときは電源プラグを抜く	万一煙が出たり、変な臭いをするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因になります。すぐに電源を切り異常状態がおさまったことを確認してから、販売店、工事店にご連絡ください。お客様自身による修理は、危険ですのでおやめください。
	感電注意	 濡れた手で、本体や電源プラグに触らないでください(雨などで濡れているときも触らないでください)。  電球の交換、清掃は、電源プラグを抜いてから作業してください。感電の原因になります。
	火傷注意	 電球は高温になります。本体を触るときは電源プラグを抜き、必ず電球が冷めていることを確認してください。火傷の原因になります。
	分解・改造の禁止	分解・改造は、危険ですのでおやめください。また、指定以外の電球や取付部品を使用しないでください。火災、感電の原因になります。



注意

	水や湿気の多い所での使用禁止	この製品は防噴流構造(IPX5)になっていますが、風呂場などの湿度の高い場所、水に浸かる恐れのある場所、水中などには設置しないでください。またホースなどで故意に水をかけないでください。火災、感電の原因になります。台風などの暴風雨の際には直接風雨が当たらないように注意してください。器具落下、故障の原因となります。
	100V以外での使用禁止	必ず交流100Vで使用してください。交流100V以外で使用すると、火災、感電の原因になります。
	定期清掃点検の実施	適正の明るさで、また安全に使用していただくために、定期的に清掃点検を実施してください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、工事店、電気店(有資格者)に修理を依頼してください。施工、保守点検、電球交換の際には手袋等の保護具を着用してください。保守点検、電球部品交換の際には電源を切ってから製品が十分に冷えるまで待ってください。電源プラグを差し込んだままにしますと、たまったホコリにより焼損や火災が発生する恐れがあります。定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でホコリを取り除いてください。
	ライトを直視しない	視力を損なう恐れがありますので、点灯中のライトを直接見ないでください。
	ライトにぶら下がらない	ぶら下がったり無理な力をかけないでください。器具落下によるけがのおそれがあります。

思ったように動作しないときは



2 本体を設置する



警告



燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。火災の原因になります。



ライト部および電球は高温になります。電源プラグを抜いて20分以上待ち、必ずライト部および電球が冷めていることを確認してから作業してください。火傷の原因になります。



濡れた手で、本体や電源プラグに触らないでください(雨などで濡れているときも触らないでください)。感電の原因になります。



注意



電球交換の際は、JD110V85Wハロゲン球を使用してください。指定以外の電球を使用すると、火災の原因になります。電源プラグを差し込んだままでの取り付け、および電球交換はしないでください。



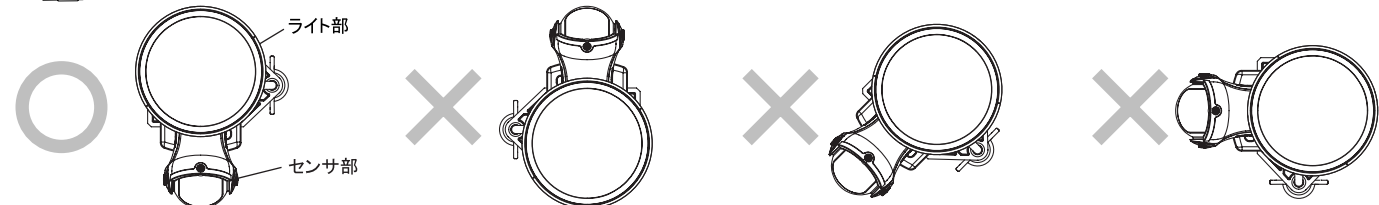
電球交換の際は、保護ガラスが外れないように、また本体と保護ガラスの隙間から水が入らないように、しっかりと締め付けてください。電球が割れないように慎重に取り扱ってください。

本体の取付方法

本体は垂直な壁や柱などの取付面と平行に(センサ部がライト部に対して真下に位置するように)取り付けてください。またライト部が地面に対して水平より下向きになるように取り付けてください。本体が地面に対して逆さまや、斜めや横になるように取り付けますと、人を検知しなかったり、雨水が入り故障や漏電の原因となります。



取付高さは、1.8m～3mを目安に取り付けてください。センサの特性上、3mを超える高い場所に設置すると検知しにくくなり、点灯しない場合があります。



■壁や天井、平らな柱などに取り付ける場合

- 1 取付ベースの仮止めフックをマイナスドライバーなどで解除し、本体から外します。さらに取付ベースのラバーも取り外します。
- 2 取付ベースを壁や平らな柱などに取り付けます。コンクリートの壁や柱に取り付ける場合は付属のコンクリート用スリーブと付属の取付ネジを、木の壁や柱などに取り付ける場合は付属の取付ネジを使用してください。



警告

しっかりした壁または柱などに取り付けてください。器具落下によるけがの原因になります。ベニヤ板、モルタルなどに付ける場合は、ホームセンターなどで専用のネジを別途お求めください。

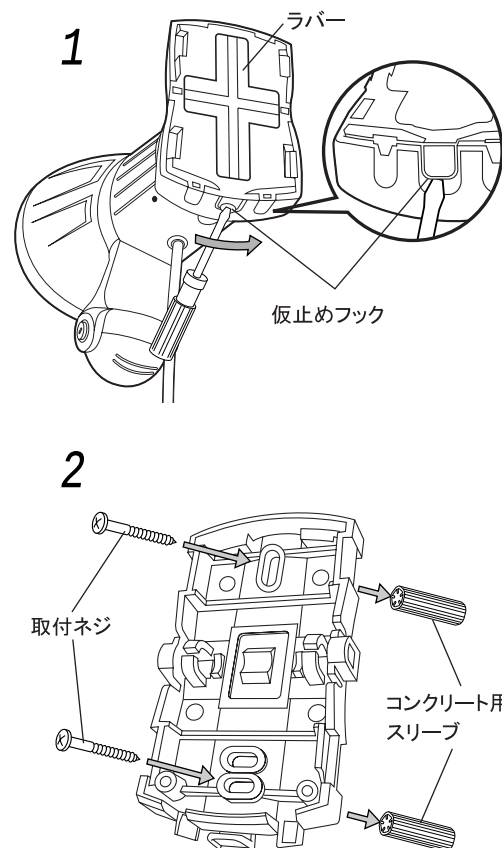


注意

付属のコンクリート用スリーブ使用時は、直径6mmの下穴を開けてください。



仮止めフックを折らないように注意してください。



動作テスト

設置した後は、必ず動作テストを行い、センサが正しく検知し、電球が点灯することを確認してください。

- 1 点灯タイマーボリュームを左(反時計回り)に回し「約5秒」に設定します。「約5秒」は出荷時の位置です。
- 2 点灯照度ボリュームを右に回し「昼も夜も点灯」に設定します。「昼も夜も点灯」は出荷時の位置です。
- 3 ライト照射範囲と検知エリアを設定します。ライト部の角度調整の後に、検知エリアの設定を行います。詳しくは7ページ『検知エリアの設定』、『ライト部の角度調整方法』を参照してください。
- 4 電源プラグを屋外用コンセントに直接つなぎます。電源が入った直後は、ウォームアップ(初期安定動作)状態になり40秒程度点灯します。点灯すれば電球と電源は正常です。点灯しないときは電源プラグを抜き、10ページ『「おかしいな…」と思ったら』を参照してください。



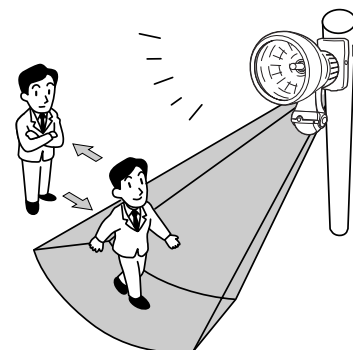
警告

屋内用コンセントは使用しないでください。また、電源コードは延長しないでください。漏電や火災の原因となることがあります。



ウォームアップ(初期安定動作)について
電源プラグをコンセントに差し込んだときは、人の検知にかかわらず電球が点灯します。これはセンサが安定するまでの初期動作で、故障ではありません。点灯時間を最長(約5分)に設定したときは、約6分間ライトが点灯します。

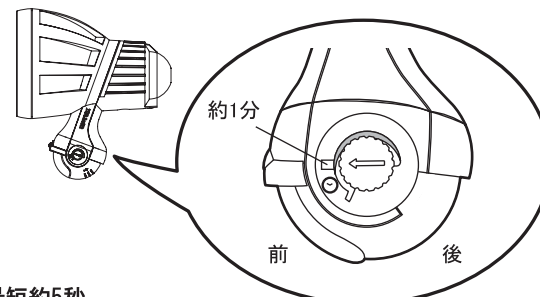
- 5 検知エリアの範囲から離れて待ち、消灯したあと検知エリアの中にゆっくりと入ります。再び点灯すると、センサは正常です。再点灯しないときや、点灯後消灯しないときは、10ページ『「おかしいな…」と思ったら』を参照してください。
- 6 動作テスト終了後、各ボリュームを状況に応じて設定してください。



各ボリュームの設定

点灯タイマーボリューム

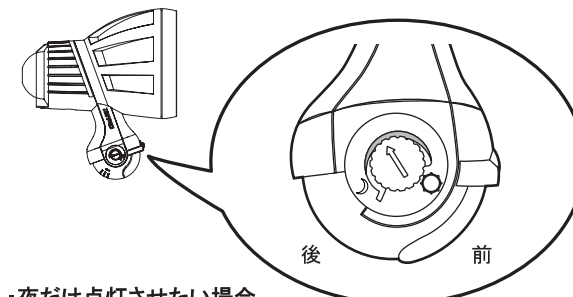
人を検知しなくなってから消灯するまでの時間を「約5秒」から「約5分」までの間で設定できます。点灯タイマーボリュームを左右に回して設定します。



- ・最短約5秒
(点灯時間を短くするときは、左に回して設定します。)
- ・最長約5分
(点灯時間を長くするときは、右に回して設定します。)

点灯照度ボリューム

昼間など周囲が明るいときは検知エリアに人が入っても点灯しないように設定できます。点灯照度ボリュームを左右に回して設定します。



- ・夜だけ点灯させたい場合
(夜など周囲が暗くなってから点灯させたいときは、左に回して設定します。)
- ・昼も夜も点灯させたい場合
(周囲の明るさに関係なく点灯させたいときは、右に回して点灯します。)



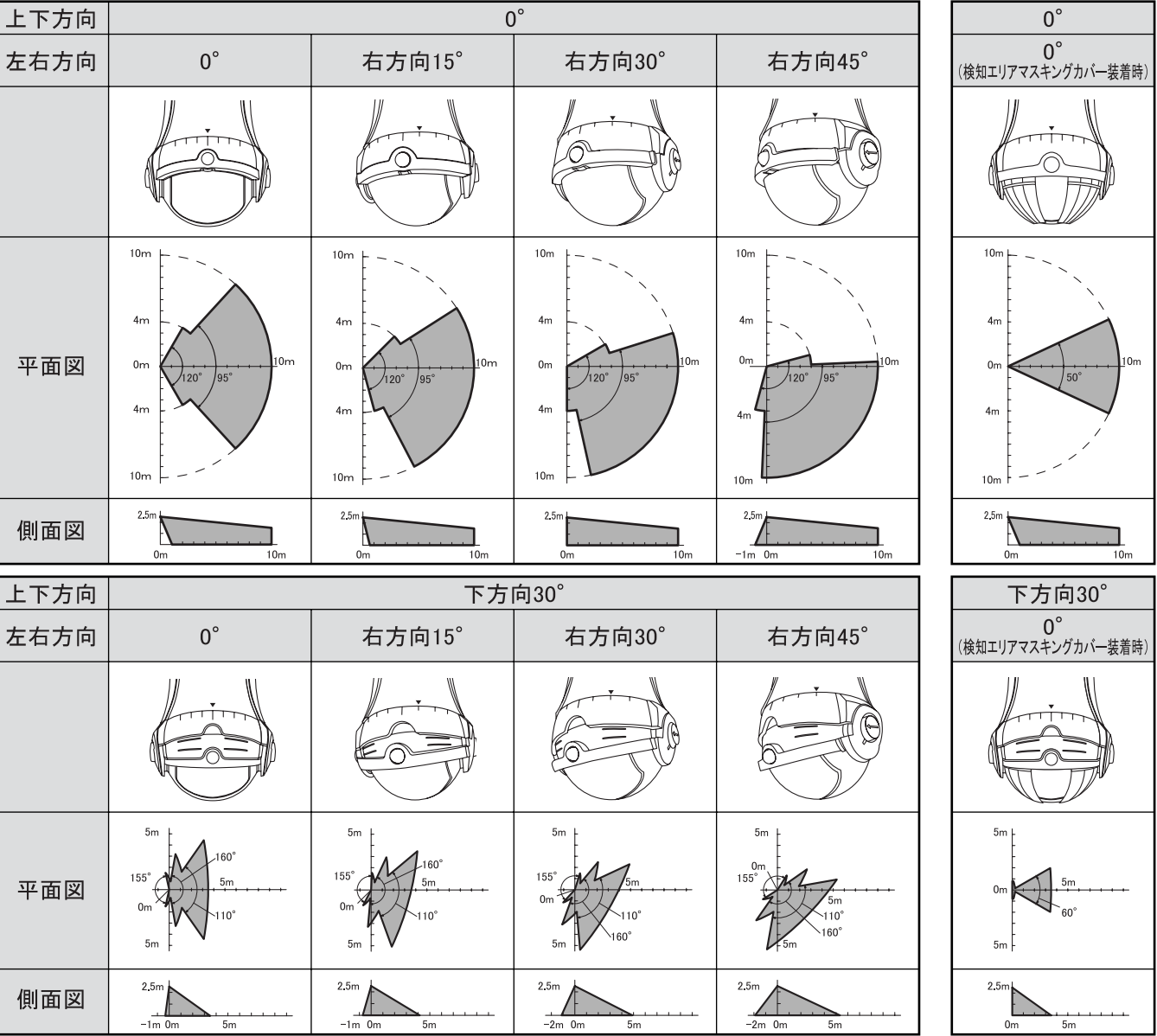
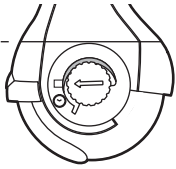
注意

ボリュームをマイナスドライバーで回す場合、回しすぎによる破損に注意して下さい。

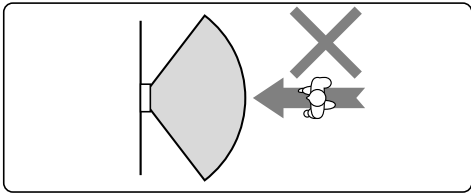
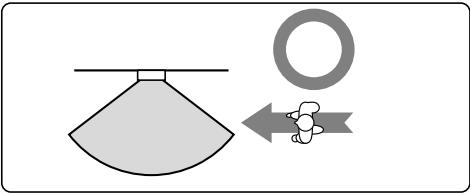
検知エリア図

本体が取付高さ2.5m、下に約20°傾けた状態
(センサが地面に対して水平の状態)での検知エリア図です。

地面に対して水平の状態



- この製品は、検知エリア内に人が入ったときの温度変化を検知する方式です。周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。
- センサに対して人が正面から近づくと検知しにくい場合があります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。



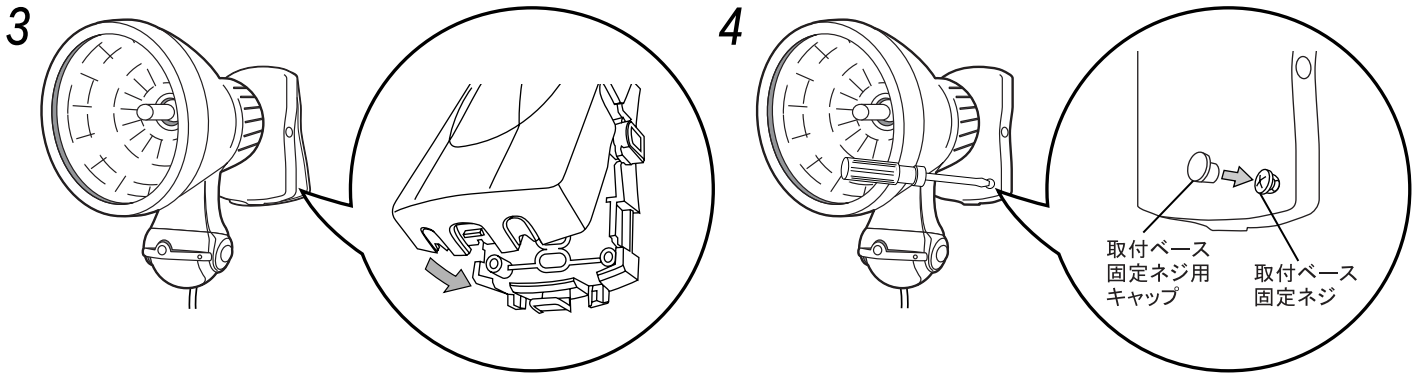
- 次のような場所に設置すると人がいなくても点灯したり、逆に人がいるのに点灯しなかったりすることがありますので、くれぐれも注意してください。
 - 検知エリア内に庭木や洗濯物など動く物がある場所
 - 検知エリアの正面から太陽や車のヘッドライトが直射する場所
 - 検知エリア内を犬や猫などが通る場所
 - 近くに換気扇やエアコンの室外機(などの風の影響を受ける)がある場所
 - 建物脇の通路など狭い場所
 - 検知エリア内に大理石など反射の強い床面がある場所
 - 周囲に壁や塀などの検知エリアを遮る物がない場所
 - ガラス越しは透明でも検知しません
 - 地面から1.8m以下の高さ
 - 地面から3m以上の高さ



- 3 取付ベースに本体をはめ込みます。
- 4 取付ベース固定ネジをプラスドライバーでしっかりと締め付けて固定し、取付ベース固定ネジ用キャップをはめ込みます。

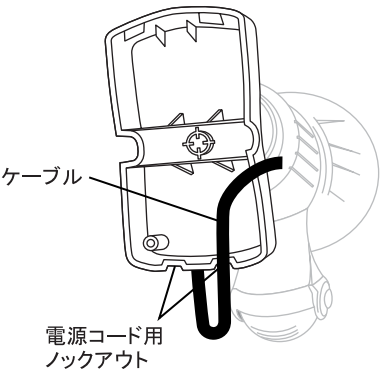


取付ベース下部のフックは仮止め用ですので、本体が落下しないよう取付ベース固定ネジをしっかりと締め付けてください。
器具落下によるけがの原因になります。



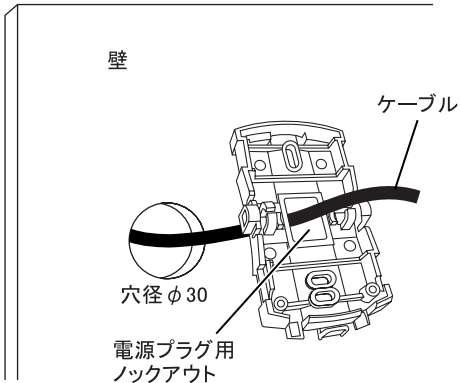
■取付ベース内に配線を通す場合

- 1 電源コード用ロックアウトのつめを折って本体ベース部に配線を入れてください。



2.1 取付け面に配線を引き込む場合

- ①取付ベースの電源プラグ用ロックアウト部分に穴をあけ、電源コードを通してください。
- ②取付面にあらかじめあけた配線用穴に配線を通してから、壁や天井、平らな柱などに取り付ける場合を参照して、取り付けてください。



2.2 ベース部で配線を固定する場合

- ①1とは反対側の電源コード用ロックアウトのつめを2箇所折って配線を入れてください。
- ②壁や天井、平らな柱などに取り付ける場合を参照して、取り付けてください。



■ポールなどに取り付ける場合

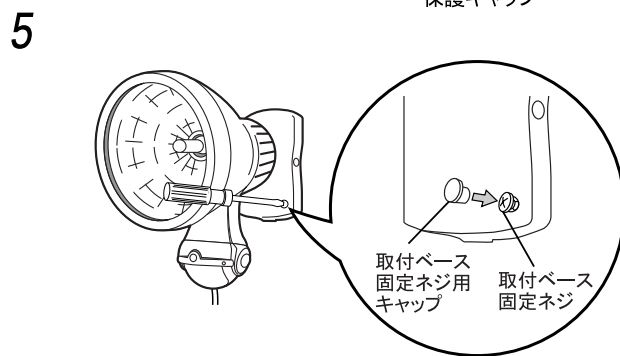
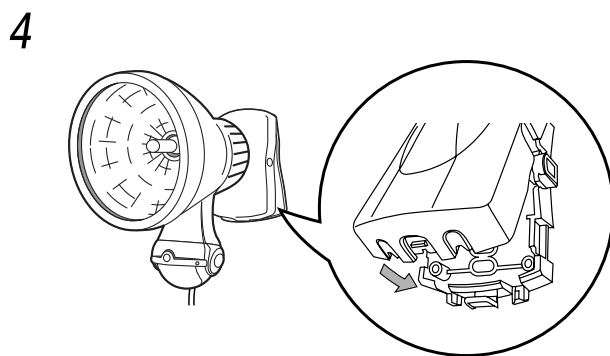
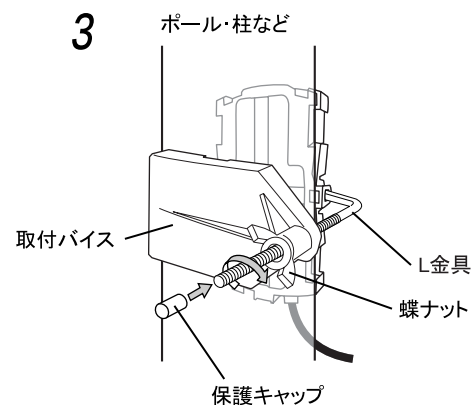
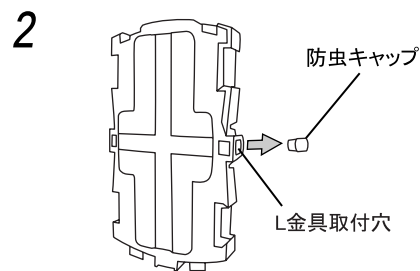
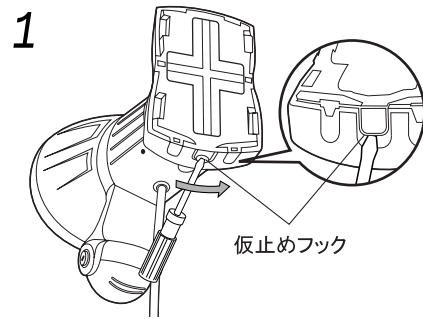
- 1 取付ベースの仮止めフックをマイナスドライバーなどで解除し、本体から外します。
- 2 さらに取付ベースの防虫キャップも取り外し、付属の取付バスのL金具をL金具取付穴に奥までしっかり差し込みます。
- 3 蝶ナットを手でしっかりと締め付け、ポールや柱などに固定します。強く締めすぎると、L金具が壊れる場合がありますので、工具などは使用しないでください。
- 4 取付ベースに本体をはめ込みます。
- 5 取付ベース固定ネジをプラスドライバーでしっかりと締め付けて固定し、取付ベース固定ネジ用キャップをはめ込みます。



しっかりとポールなどに取り付けてください。器具落下によるけがの原因になります。付属のネジで取り付けできない場合は市販のネジを別途お求めください。



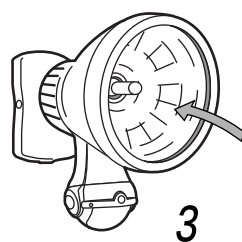
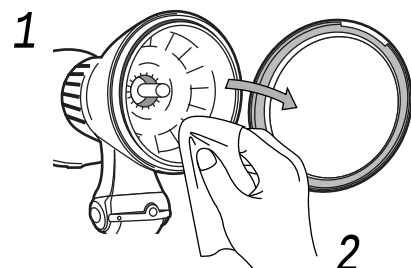
付属の取付バスでの取付幅は、丸柱の場合直径25～80mm、角柱の場合25～100mmです。それ以外の取付幅のポールや柱への取り付けには、市販のステンレスバンド（バンド幅10mm以内）を電気材料店やホームセンターなどでお求めください。



電球の取付方法

- 1 保護ガラスを左に（反時計回り）回して外してください。
- 2 付属の電球をソケットにしっかりとねじ込んでください。電球は直接手で触らず、ハンカチなど乾いた布などで持ってください。
- 3 保護ガラスを右に（時計回り）回して、ライト部にしっかりと装着してください。

交換電球(85W電球)の一例
 ・ウシオ電機(株)／JD110V85WHEP
 ・松下電器産業(株)／JD110V85W・NP/E
 ・三菱電機オスラム(株)／JD110V85WNE



3

ライト部の角度調整方法



燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。火災の原因になります。

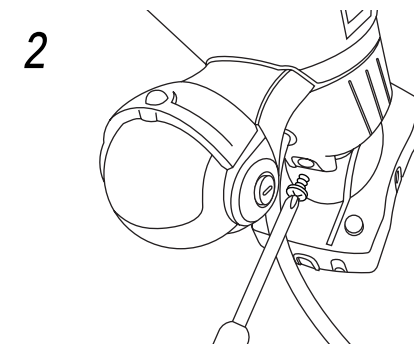
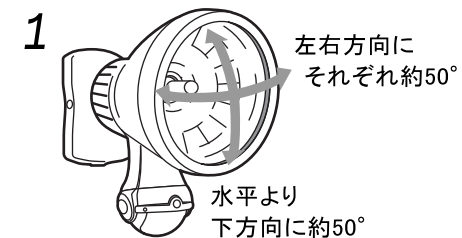


ライト部および電球は高温になります。電源プラグを抜いて20分以上待ち、必ずライト部および電球が冷めていることを確認してから作業してください。火傷の原因になります。



濡れた手で、本体や電源プラグに触らないでください（雨などで濡れているときも触らないでください）。

- 1 ライト部の角度を調節します。ボールジョイント構造によりライト部は上下左右に動きます。ライト部の角度調整の際は、センサ部がライト部に対して真下に位置するように調整してください。またライト部が地面に対して水平より下向きになるように調整してください。
- 2 本体下部（ボールジョイント付近）からボールジョイント固定ネジ（M4×8）にて締付けてください。



ボールジョイント固定ネジを締め付ける際は、強く締め付けないように注意してください。ボールジョイントの動きが鈍くなったり、破損の原因となります。

検知エリアの設定

検知エリアの設定

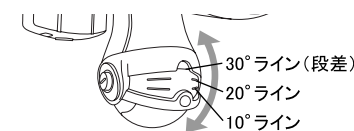
- センサ部の角度調整による設定
センサ部を上下左右に動かすことで、検知エリアを調整することができます。



可動範囲を超える方向に無理に力を加えないでください。破損の原因になります。

下方向：30°まで可動

30°ライン（段差）を越えないように注意して下さい。



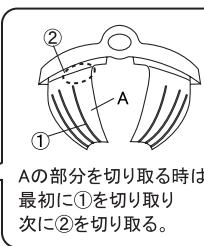
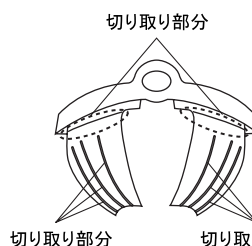
左右方向：各45°まで可動

各45°ラインを越えないように注意して下さい。



- 検知エリアマスキングカバーによる設定

付属の検知エリアマスキングカバーを必要に応じてカッターなどで切り取り、検知レンズ部分に装着することにより左右方向の検知範囲を狭くすることができます。



Aの部分を切り取る時は最初に①を切り取り次に②を切り取る。

- 検知エリアマスキングカバーの外し方

検知エリアマスキングカバーの左右のすき間にマイナスドライバーを差し込み、本体正面に向かって外して下さい。



無理に力を加えないでください。器具が破損するおそれがあります。

